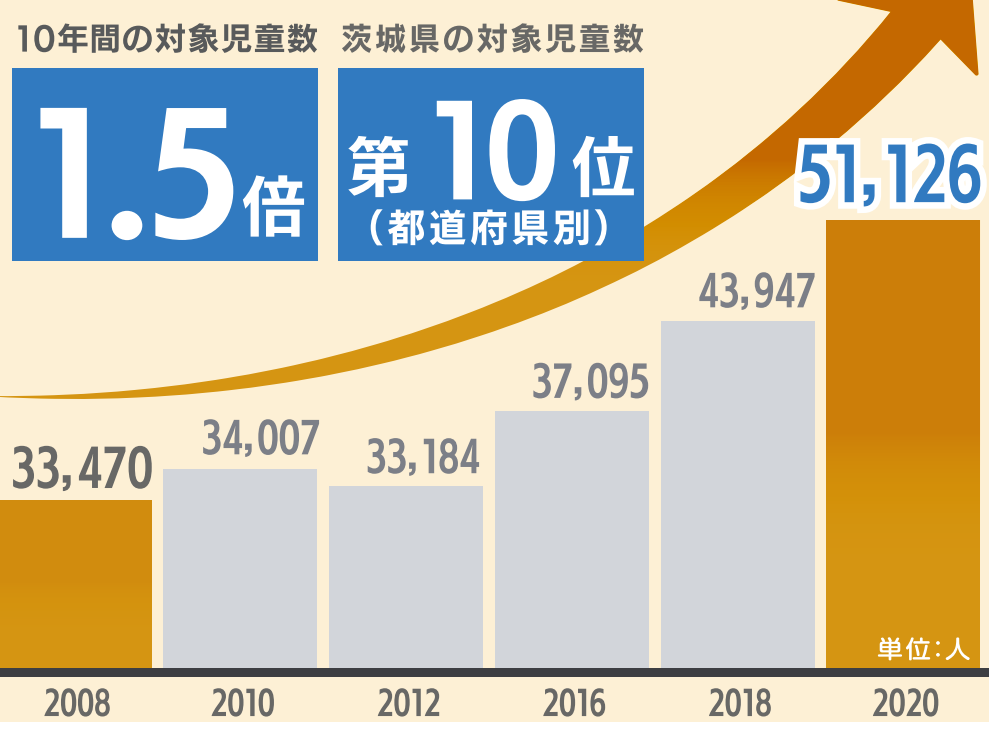


IC with U プロジェクト

茨城キリスト教大学では、2020年度から地域の《多文化協働(共生)社会》の構築に取り組んでいます。
2021年度からは、これらをより広範囲・本格的に推進するために、
外国にルーツがある子どもたちの学習支援を中心とした、学内横断プロジェクトを始動させました。

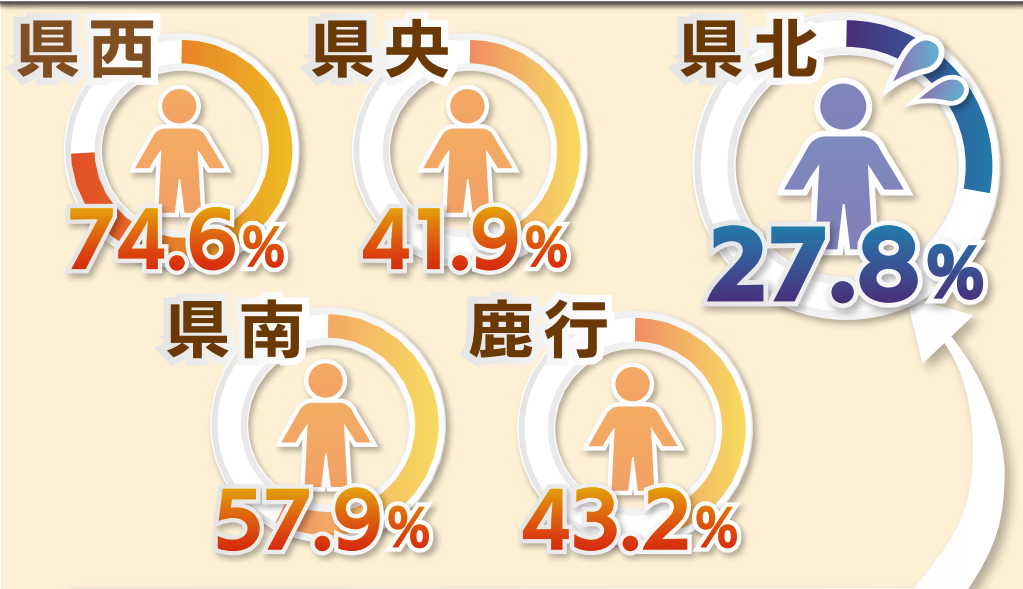
日本の現状 日本語指導が必要な児童生徒数*の推移

*小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校



出典:文科省『日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査(平成30年度)の結果について』

茨城県の現状 日本語指導教員のサポートを受けている子どもの割合



県北地域はサポート対象となる子どもが散在しているため、支援が行き届きにくい。

出典:茨城県『令和3年度帰国及び外国人児童生徒等日本語指導対応教員加配校』

IC with U プロジェクト 3つの取り組み

このような事実を受け止め、状況を改善していくための支援策を、大学のカリキュラム(教育課程)に組み込みながらプロジェクトとして展開し、将来的には学園の他組織(高校・中学・こども園)とも連携していきます。



本学生の人材育成

《多文化協働クリエイター》の育成

外国にルーツのある子どもたちの学習支援に必要な基礎課目を設定

- 多文化協働
- 日本語教育
- 子ども・家庭・ウェルフェア
- 教育の理論
- 実践演習

基礎講座を開講。指定単位を取得後は修了証を交付

